



1ヶ月で独り立ち！ 社内教育プログラム

2020.9.29

@第11回 Alteryx User Group in 東京

岩岡 友夫

自己紹介と本日の内容

◆自己紹介

名前：岩岡友夫（いわおか ともお）

- 株式会社マクロミル データマネジメント部 技術研究Gマネージャー
 - ↳ ツールやプログラミングを掛け合わせ、業務効率・サービス開発に従事
 - ↳ 前職はブックオフにて店長～マネージャー：本部にて分析業務に従事
- Alteryx歴（1年半弱 転職して初めて触りました）
 - ↳ 全然理系ではないですが、Alteryx使ってます

◆本日の内容

研修後に実務で使ってもらえる研修にするにはどういう研修がよいか？

試行錯誤して行った、実例をご紹介します

研修あるある

新しく導入したツールの研修をして、こんなことはありませんか？

- やっぱり使い慣れた方法（ツール）で作業するから、研修で習ったツールは使わない → 導入の意図が伝わらない
- 後日使ってみても使い方を思い出せずあきらめてしまう → フォロー不足
- 研修で扱うデータが実データと乖離があり、実務のイメージがつかない → 研修内容がマッチしていない

研修しても『ツールを簡単に使えない』
⇒『新しいツールは大変』⇒『使わない』
結果的に普及できない

1, 2日研修したので、あとはユーザー自身が
自習するユーザー任せになりがち



『慣れるまで頑張ってください』といった
ユーザー任せではなく、
『慣れるまでサポート』する研修

しかし、時間は有限なので期間を決めて
ユーザーも研修者も自律的に取り組むことが大事



研修の目的は？ 準備は？

◆目的は明確に！

- 今回のパターンは研修後に実務で使ってもらうこと

「知ってる」ではなく「使える」がゴール

◆準備で考えることはたくさんある（一部抜粋）

- 期間は？

→ 1, 2回の研修では使えるようにはならない。

短期集中で1コンテンツ1.5時間×週2回×4週でやりきる！（トライアルキーの関係もあるので）

- ライセンスどうする？2週間のトライアルでは足りない

→ 担当営業の方に相談してみてください 1ヶ月トライアルキーの発行をして頂ける場合があります

インストールは時間がかかるので各自やってもらう（ここ重要）

- ターゲットはどの層？

→ 「使える」がゴールなので、ある程度データ構造がわかっている人が対象（ExcelでピボットわかればOKぐらい）

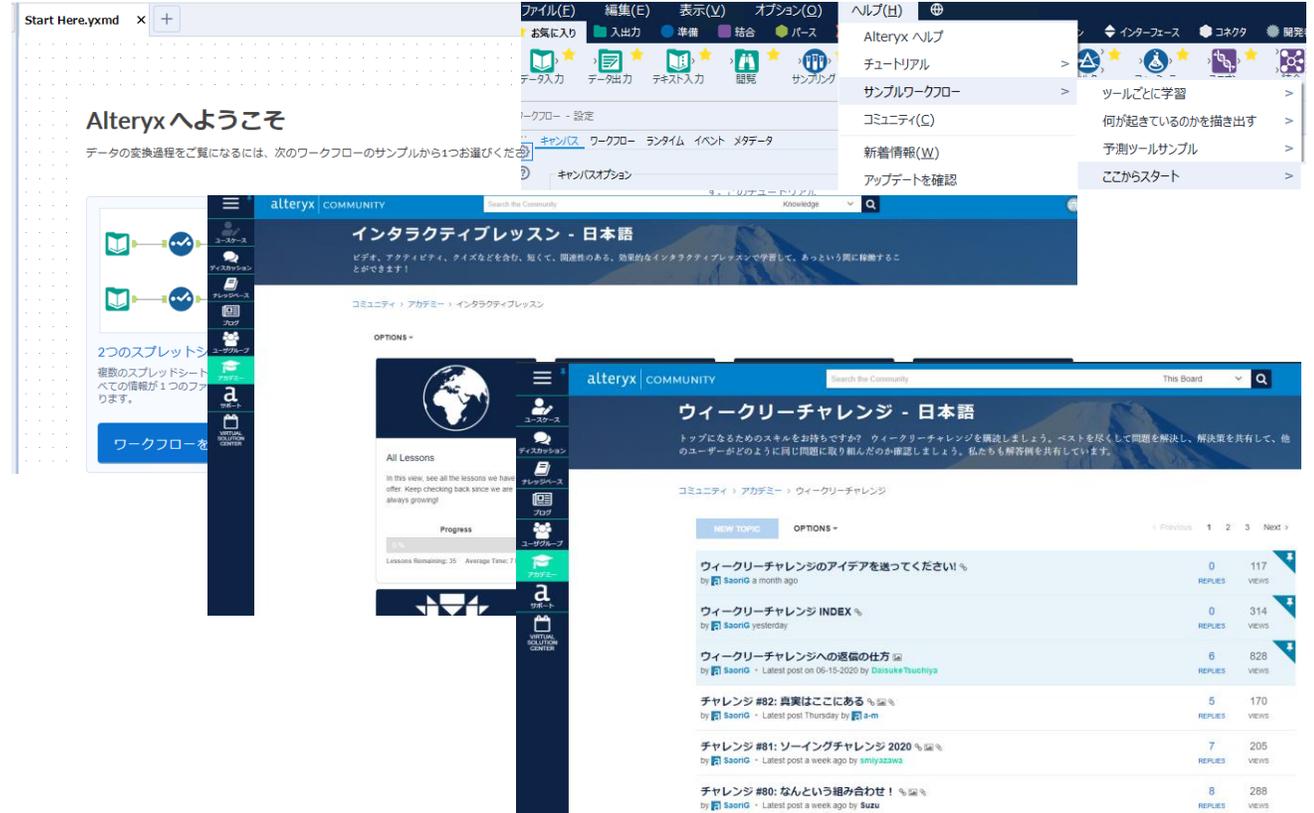
- コンテンツは？

→ 次のスライドで

この時間以外にも課題を提出がある。
通常業務のセーブや時間確保をしてもらう事を
各メンバーの上長に根回ししておくことが大事

研修コンテンツはどうする？

- サンプルワークフローをやる？（チュートリアル）
- インタラクティブレッスンをやる？
- ウィークリーチャレンジをやる？



Alteryx社用意はまとまっていてよいが
ユーザー回せになりがち
また社内で使うデータとの乖離がある

社内の実データを使い**独自で作成**

↳大変ですが使い慣れているデータだと、扱いもしやすく覚えやすい

↳PPTとAlteryxを行ったり来たりしたくなかったのですべて**Alteryxで完結する**ように資料作成（DEMOします）

※Alteryx社のコンテンツは自習時間で確認（「例を開くのみ」）

研修スケジュール例



◆研修の基本はハンズオン

中盤からはハンズオンと課題演習を半々にし、持ち帰り学習は極力なくす。
(一部終わらないければ次回までやってきてもらうことはある)

◆卒業課題について

わからない場合に自分で調べて解決できるようにする為に、
卒業課題は習ったこと+ α で自分で調べないとわからない問題を作成 (ヒントは出します)

◆課題はすべてフィードバックを行う

フローを確認し、GoodPoint BadPointを記載

こちらの想定していないツールの使い方が出たら、例として挙げたりもする
これが正解というフローはないが、一つの考え方としてフィードバックする

↳速度的にツールの順番はどうか？例外データの処理はされているか？エラーには気付けるか？等

Innovative
insights
for all

ご清聴ありがとうございました

MACROMILL 
a Macromill Group company

株式会社マクロミル